主な企画セッション

2月25日(水)

品質不正・不祥事防止のために必要なこと Ⅲ
～品質不正防止を実現する組織風土の改革と品質経営の推進～
クオリティフォーラムでは一昨年から継続して品質不正防止をテーマに議論を行っています。本年は、「組織風土の改革」と「品質経営の推進」に焦点を当て、TQM の視点も踏まえ、品質不正防止に向けた実効性ある取り組みを探ります。

環境変化に対応する QC サークル（小集団改善）活動の支援 Ⅱ
～これまでもこれからも現場の活力の源泉であり続けるための QC サークルの変革～
QC サークル活動は「人間性尊重・職場の活性化・企業発展」を理念に働く人々の能力と生きがいを引き出し、企業の成長を支えてきました。近年の社会変化や DX・SDGs の進展により、活動の推進や運営方法の変革が求められています。現代に対応した QC サークルの実践事例を基に、未来志向の QC サークルの在り方を探ります。

品質経営度調査 上位格付け企業のベストプラクティスに学ぶ
～「企業の品質経営度調査」を活用した品質経営のレベルアップ～
日科技連と日本経済新聞社が品質の重要性を再認識し産業界全体に浸透させる目的で 2004 年から実施する品質経営度調査は、信頼ある業界指標の一つです。2024 年度「第 12 回企業の品質経営度調査」の上位評価獲得企業の品質経営の活動と取り組みをご紹介します。貴社の品質経営の現状分析や強化に役立つ内容です。

2月26日(木)

AI と品質経営
～ AI と品質経営の融合がもたらす新たな可能性を探求する～
AI の導入により、品質管理のプロセスは飛躍的に進化します。TQM と AI を組み合わせることで、PDCAサイクルの加速やコスト削減が可能になります。ただし、導入には組織文化やデータ品質などの課題もあります。本セッションでは、成功・失敗の事例を交えて AI と品質経営の融合を進めるためのポイントを探ります。

製造業の競争力を支えるソフトウェア品質
～ベストプラクティスに学ぶソフトウェア品質向上への道筋～
より精緻な制御や業務範囲の拡張をソフトウェアや AI の強みを活かして高めたいと考えた時、ソフトウェア品質は重要なポイントです。しかし、多くの企業が「ソフトウェア知識不足」や「繰り返すバグ対策不足」に悩んでいます。ソフトウェア品質の課題と対策を共有し、製品やサービスの顧客価値向上につなげることを目指します。

新たな価値創造と利益をもたらすサービスエクセレンス
～顧客満足を超える「喜び・感動」で、新たな価値創造と利益をもたらす～
2021 年に国際規格 ISO 23592 と JIS Y24082 が発行され、顧客満足を超えた「感動体験＝デライト」の創出を目指すサービスエクセレンスの考え方が注目され、取り組む企業も増加しています。本セッションでは、エクセレントサービスの設計と展開を通じて、新たな価値創造と利益をもたらす「コト価値」の開発と、それを組織内でどのように具現化・実装していくかを議論します。

※その他、25 日…『デジタルトランスフォーメーション（DX）による新しい価値創造 Ⅵ』、『地域発エクセレント・カンパニーの競争力の源泉を探る』、『グローバルで社員の行動・意識をひとつにする「ウェイ・マネジメント」』、26 日…『トップが語る我が社の品質経営』、『DX 時代のフロントローディング』、『イノベーションの成功は共創力の強化から始まる！～心理的安全性を昇華させたイノベーションを加速させる方法論～』などを予定しています。詳細は中面をご覧ください。

参加要項

● **参加費**（すべて税込、１名様分）

QF2025参加区分		
	1	**通常2日券** **一般：58,080円／日科技連賛助会員：48,400円**（1名あたり）
	2	**大口参加券** **一般・日科技連賛助会員：957,000円**（1社あたり） ※上記の金額で、何名でも参加可能です。
	3	**小口参加券** **一般・日科技連賛助会員：418,000円**（1社あたり） ※上記の金額で、15名まで参加可能です。
	4	**一般事例発表者** **5,500円**（1名） ※大口券購入企業からのご発表の方は参加費不要です。

〈大口参加券とは〉
＊１社から、人数無制限で参加いただけます。
＊17 名以上参加で、元がとれます！
＊１ID で何名でも視聴できるので、様々な部門の方に、簡単に参加いただけます。

X(旧ツイッター)を見る
@quality_forum_

● **参加費支払い方法**
請求書記載の指定口座へ、請求書発行後 2 ヶ月以内にお振込みください。
（開催の約３週間前を目途にお送りします）

● **お申込みのキャンセルについて**
正式な参加登録後、お客様のご都合でお申込をキャンセルされる場合には、大変恐縮ながら以下の通りキャンセル料が発生いたします。
クオリティフォーラム開催日 (2/25) の
・７営業日前～１営業日前の 17:00 まで―参加費の 50%
・１営業日前の 17:00 以降、または事前のご連絡がなかった場合―参加費の 100%

● **フォーラム内容に関するお問い合わせ先**
一般財団法人 日本科学技術連盟
「クオリティフォーラム 2025」担当
〒163-0704　東京都新宿区西新宿 2-7-1
新宿第一生命ビル４階
TEL：03-5990-5846
E-mail：juse-qf@juse.or.jp

● **申込みに関するお問い合わせ先**
申込は、web サイトからお願いします
一般財団法人 日本科学技術連盟　セミナー受付
〒166-0003　東京都杉並区高円寺南 1-2-1
TEL：03-5378-1222　E-mail：regist@juse.or.jp

ver.7 20260206

Quality Forum

JUSE – Quality Forum

クオリティフォーラム2025
（品質経営総合大会）

2026.2/25Wed～2/26Thu

https://www.juse.jp/quality_forum/

品質経営で持続可能な未来を作る「Quality Next」
～信頼と新たな価値の共創～

特別講演 1

長谷川 靖高
㈱メイドー
代表取締役社長

特別講演 2

金子　新
京都大学　iPS 細胞研究所
教授
筑波大学　医学医療系
特任教授

特別講演 3

森　雅彦
DMG 森精機㈱
代表取締役社長

クオリティフォーラム 2025（品質経営総合大会）プログラム

テーマ：品質経営で持続可能な未来を作る「Quality Next」～信頼と新たな価値の共創～

2026 年 2 月 25 日㈬～ 26 日㈭

https://www.juse.jp/quality_forum/

実施方法：オンライン

特別講演・企画セッション・一般事例発表の概要はホームページをご覧ください。

※本プログラムは、登壇者・発表者の都合により、変更となる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

※セッションテーマ、講演テーマは仮題です。

（敬称略）

2 月 25 日㈬

特別講演

時間	A会場：2階講堂
9:00～9:15	開催挨拶　佐々木　眞一　（一財）日本科学技術連盟　理事長、鈴木　知道　クオリティフォーラム　企画委員長
9:15～10:35	特別講演 1　「顧客の信頼を勝ち取るために必要な組織能力の獲得と TQM ～自動車産業を支え続けて 100 年・黒子のモノづくり～」　長谷川　靖高（㈱メイドー　代表取締役社長）
10:40～12:00	特別講演 2　「アカデミア発のイノベーションを社会に ～ iPS 細胞技術を用いた新しいがん免疫治療の挑戦～」　金子　新（京都大学　iPS 細胞研究所　教授／筑波大学　医学医療系　特任教授）

企画セッション

時間	A会場：2階講堂【品質不正・不祥事防止のために必要なこと　Ⅲ ～品質不正防止を実現する組織風土の改革と品質経営の推進～】	B会場：3階B室【環境変化に対応する QC サークル（小集団改善）活動の支援　Ⅱ ～これまでもこれからも現場の活力の源泉であり続けるための QC サークルの変革～】	C会場：3階C室【品質経営度調査　上位格付け企業のベストプラクティスに学ぶ ～［企業の品質経営度調査］を活用した品質経営のレベルアップ～】	D会場：3階D室【デジタルトランスフォーメーション（DX）による新しい価値創造 Ⅵ ～ DX による持続可能な成長と品質革新～】	E会場：2階A室【地域発エクセレント・カンパニーの競争力の源泉を探る ～福島発エクセレント・カンパニー　復興から未来へ～】	F会場：2階B室【グローバルで社員の行動・意識をひとつにする「ウェイ・マネジメント」 ～企業の根幹となる「らしさ」を共有し、一体感を醸成する～】
13:00～13:45	① 「常に存在する品質不正リスクへの対応 ～品質を中心とする経営の実践～」 早稲田大学 理工学術院　教授　棟近　雅彦	⑤ 「DN7 を活用した データ駆動型品質管理とアジャイル改善」 ㈱デンソー　モノづくり DX 推進部 吉野　睦 インタビュー	⑨ 「仕組みの成熟度に焦点を当てた品質経営の進化 ～格付けを超え、一人ひとりの行動変容への灯をともす～」 企業の品質経営度調査　企画委員会委員長 電気通信大学名誉教授・特任教授 鈴木　和幸	⑬ 「AI 時代を勝ち抜くための製造 DX」 DMG 森精機㈱ DX 推進部　部長　糸山　芳美	⑰ 「「在地超地」のマネジメント ～地域を超えた企業成長を実現する～」 明治学院大学名誉教授 神田　良	㉑ 「グローバルで多様な社員を結びつける 共通の価値観と行動指針～コマツウェイ～」 ㈱小松製作所 コマツウェイ総合研修センタ　所長 山下　千津子 インタビュー
13:55～14:40	② 「品質不正防止のために TQM活動で出来ること」 川崎重工業㈱　技術開発本部 プロセスエンジニアリングセンター TQM 推進部　秋山　敬祐	⑥ 「QC 活動は“気づき”の場 ～デジタルとアナログが育てる現場人材～」 ㈱タガミ・イーエクス 専務取締役・CDO　田上　隆幸	⑩ 「TOPPAN ホールディングスにおける 品質経営」 TOPPAN ホールディングス㈱ 製造統括本部　品質保証センター センター長　冨吉　昇	⑭ 「ダイキン工業の DX 変革 ～ダイキン情報技術大学による人材育成～」 ダイキン工業㈱ テクノロジー・イノベーションセンター 主任技師　板谷　修司	⑱ 「企業連携で 次世代モビリティ集積地を目指す」 ㈱アリーナ 代表取締役社長 高山　慎也 インタビュー	㉒ 「花王ウェイが支える持続可能な経営と 品質向上」 花王㈱ 品質保証部門　品質保証センター 品質保証センター長　柳原　茂人
14:50～15:35	③ 「二度と繰り返さないための「組織文化変革」の取り組み ～ FF 式石油暖房機の不安全事故を教訓に～」 パナソニック オペレーショナルエクセレンス㈱ 品質・環境担当 執行役員 上原　宏敏 インタビュー	⑦ 「今までの改善活動が変わる！ “誰ひとり置き去りにしない” QC サークルのつくり方」 ㈱シンニチロ 取締役　CTO　須澤　義男	⑪ 「キリングループにおける 品質事故と品質経営について」 キリンホールディングス㈱ 常務執行役員　品質保証統括 兼 品質保証部長　永嶋　一史 インタビュー	⑮ 「三菱ケミカルにおける 製造 DX の取り組みと課題」 三菱ケミカル㈱ DX ソリューションデリバリー部 スマートファクトリーグループ長 奥津　肇 インタビュー	⑲ 「在地超地企業を支える 地域金融機関グループの役割」 （一財）とうほう地域総合研究所 理事長　矢吹　光一	㉓ 「「“はたらく” に歓びを」の実現を 目指すリコーが進める人的資本経営」 ㈱リコー コーポレート執行役員　CHRO 人事総務部長　長久　良子
15:45～16:30	④ 3 者とフロアによる総合討論（パネル） 【コーディネーター】棟近　雅彦 （早稲田大学　理工学術院　教授）	⑧ 3 者とフロアによる総合討論（パネル） 【コーディネーター】光藤　義郎 （（一財）日本科学技術連盟　嘱託）	⑫ 3 者とフロアによる総合討論（パネル） 【コーディネーター】石津　昌平 （青山学院大学名誉教授）	⑯ 3 者とフロアによる総合討論（パネル） 【コーディネーター】三好　敏 （日経 BP 総合研究所クリーンテックラボ 上席研究員）	⑳ 3 者とフロアによる総合討論（パネル） 【コーディネーター】神田　良 （明治学院大学名誉教授）	㉔ 3 者とフロアによる総合討論（パネル） 【コーディネーター】木内　正光 （玉川大学　経営学部　教授）

2 月 26 日㈭

一般事例発表・日本品質奨励賞受賞報告講演

時間	A会場：2階講堂 司会：下村　憲司（㈱デンソー） 貞本　徹（日野自動車㈱）	B会場：3階B室 司会：椎野　修一（日本電気㈱） 原　和宏（㈱ブリヂストン）	C会場：3階C室 司会：髙木美作恵（日科技連） 川瀬　祐子（富士フイルムビジネスイノベーション㈱）	D会場：3階D室 司会：藤田　元就（㈱アイシン） 飯澤　尚文（アルプスアルパイン㈱）	E会場：2階A室 司会：筆谷　定明（アイホン㈱） 飯塚　裕保（積水化学工業㈱）	F会場：2階B室 司会：荻島　賢一（コニカミノルタ㈱） 林　篤孝（㈱ジーシー）
9:00～9:33	㉕ 【SQC の活用】 「旧型補給パンパー 新設レーザー孔加工機　加工条件の確立」 トヨタ紡織㈱　近藤　大貴	㉚ 「スマートシンキング ～ DX 時代のデジタルでスマートな問題解決のあり方～ 解説」 法政大学　西岡　靖之 （IVI 協賛セッション）	㉟	㊵	㊺ 【人材育成】 「SQC 人財の育成」 ㈱アーレスティ　清水　俊介	㊿ 【QC サークル活動（小集団改善活動）の推進】 「研削材製造係における一人あたり生産金額の向上 ～生産効率の高いレイアウト実現と稼働をまたがる多能化による直接作業比率の向上～」 ㈱ジーシーデンタルプロダクツ　小林　寛享
9:40～10:13	㉖ 【SQC の活用】 「射出発泡成形における外観品質と 剛性の両立条件確立」 トヨタ紡織㈱　津田　貴之	㉛ 「スマートシンキング実践企業事例① カーボントレーサビリティ実現と 新価値創出」 ㈱神戸製鋼所　池田　英生	㊱ 【工程の品質改善・効率化】 「ビッグデータ活用によるガソリン直噴 インジェクタの圧入不良ロットアウト撲滅」 ㈱デンソー　福森　聖、柴田　真史、 横家　薫、武田　浩一、髙橋　翔	㊶ 【新商品開発・技術開発】 「聴覚障がい当事者ユーザーと 共に創り続けた YYSystem」 ㈱アイシン　中村　正樹、日下　喜与美	㊻ 【人材育成】 「品質不正を防ぐ教育 実務編」 標準化戦略研究会　實原　信昭	㊿① 【QC サークル活動（小集団改善活動）の推進】 「大規模組織におけるソフトウェア品質管理のパラダイムシフト ～“後追い” 品質改善からの脱却～」 みずほリサーチ&テクノロジーズ㈱　田口 治、森井 宏幸
10:20～10:53	㉗ 【SQC の活用】 「信頼性予測による市場不良の発生予測」 東林コンサルティング　細島　章	㉜ 「スマートシンキング実践企業事例② センシング利活用による予知保全」 ㈱ミスズ工業　牛山　順一	㊲ 【工程の品質改善・効率化】 「シートカバー縫製における ミシン針の標準化活動」 トヨタ紡織㈱　齊藤　典子、田中　智久	㊷ 【新商品開発・技術開発】 「生成 AI が変える未来価値創造 ～経営と品質が協働する顧客起点の戦略～」 ㈲企画システムコンサルティング　石川　朋雄	㊼ 【人材育成】 「品質管理の究極の目的は 人財育成と組織活性化」 品質のエバンジェリスト　鱠谷　佳和	㊿② 【サービスの質向上】 「B2C デジタルトレーサビリティの 実証報告」 （一社）PL 研究学会　渡辺　吉明
11:00～11:33	㉘ 【日本品質奨励賞 TQM 奨励賞 受賞報告講演】 松本工業㈱	㉝ 3 者とフロアによる総合討論（パネル）	㊳ 【工程の品質改善・効率化】 「生成 AI 時代の QA 戦略」 エムスリー㈱　窪田　純士、草場　翔太	㊸ 【新商品開発・技術開発】 「車載品質ナレッジと AI を用いた フロントローディング品質改善」 ヤマハ㈱　森島　守人	㊽ 【人材育成】 「産学官連携による人材育成 ～地域ネットワークで広げた「問題解決の手順」～」 ㈱デンソー岩手　髙橋　玲子	㊿③ 【マネジメントと組織運営】 「アイシンの全社職場マネジメント質向上の取組み」 ㈱アイシン　井上　友貴
11:40～12:13	㉙ 【日本品質奨励賞 TQM 実践賞 受賞報告講演】 ㈱エス・ディ・ロジ 信頼性保証室	㉞ 【日本品質奨励賞 TQM 実践賞 受賞報告講演】 グリコマニュファクチャリングジャパン㈱ ワンオペレーション部および鳥取工場	㊴ 【日本品質奨励賞 TQM 実践賞 受賞報告講演】 独立行政法人国立病院機構 埼玉病院	㊹ 【日本品質奨励賞 TQM 実践賞 受賞報告講演】 ジャパンフィルター㈱	㊾ 【日本品質奨励賞 TQM 実践賞 受賞報告講演】 ㈲中央パフ製作所	㊿④ 【日本品質奨励賞 TQM 実践賞 受賞報告講演】 ㈱ TMJ　東日本事業本部 東日本第 3 事業部　第 3 センター

G会場：地下 1 階講堂　特別セッション

ISO から TQM へ ～成長のための次世代品質経営モデルの提案

㊾①	「2025 年度の研究活動報告」 東海大学 情報通信学部　教授 金子　雅明
㊾②	「シン・TQM モデルの提案と効果の見える化 ～TQM 活用の極野を広げることを目指して～」 成蹊大学 経営学部　教授　福澤　光啓
㊾③	「変化に対応するためのシン・TQM ～コンプライアンスや品質不正に対応するための TQM とは？～」 拓殖大学　商学部　教授　佐野　雅隆
㊾④	「シン・TQM における人材育成のあり方 ～ヒトや環境の変化への対応を踏まえた次世代の品質教育と QC サークル活動～」 電気通信大学大学院　情報理工学研究科 准教授　加藤　睿吾
㊾⑤	「シン・TQM 実現に向けた新しい手法体系の構築 ～現代的課題に対応する実践的ツールマップ～」 京都大学大学院　工学研究科 教授　泉井　一浩

企画セッション

時間	A会場：2階講堂【トップが語る我が社の品質経営 ～エクセレントカンパニーが実践する様々な品質経営のかたち～】	B会場：3階B室　日本品質工学会協賛セッション【DX 時代のフロントローディング ～ TQM と品質工学の併せ技による競争力の向上～】	C会場：3階C室【「AI と品質経営」 ～ AI と品質経営の融合がもたらす新たな可能性を探求する～】	D会場：3階D室【製造業の競争力を支えるソフトウェア品質 ベストプラクティスに学ぶソフトウェア品質向上への道筋】	E会場：2階A室【新たな価値創造と利益をもたらすサービスエクセレンス ～顧客満足を超える「喜び・感動」で、新たな価値創造と利益をもたらす～】	F会場：2階B室【イノベーションの成功は共創力の強化から始まる！ ～心理的安全性を昇華させたイノベーションを加速させる方法論～】
13:00～13:45	㊺ 「鋼板ユニットにおける TQM の活用」 【2024 年度日本品質奨励賞 TQM 奨励賞受賞】 ㈱神戸製鋼所　素形材事業部門 銅板ユニット　ユニット長 原田　宗和 インタビュー	㊾ 「DX 時代の TQM ～品質経営の基本と変革の必要性～」 情報・システム研究機構 データサイエンス共同利用基盤施設 副施設長　椿　広計 インタビュー	㊸ 「AEI（Artificial Elastic Intelligence）を用いた製造業の生産性向上」 ㈱ pluszero 代表取締役会長 CEO 小代　義行 インタビュー	㊼ 「新技術と品質をつなぐソフトウェア開発力強化活動 ～新技術導入に伴う品質課題の早期検知と対応力強化の取り組み～」 コニカミノルタ㈱ 品質本部　品質保証企画部　部長　矢部　智 品質本部　グループ品質保証部・グループリーダ 樋口　和広	㊶ 「企業・病院との共同研究を通した「組織能力サービスエクセレンス」および「エクセレントサービスの設計」を実現するための活動」 東京大学　総括プロジェクト機構 特任教授　水流　聡子	㊻ 「イノベーションの成功は共創力の強化から始まる！ ～心理的安全性を昇華させたイノベーションを加速させる方法論～」 ランスタッド㈱　組織開発ディレクター 兼 セールスプロモーションマネージャー 川西　由美子
13:55～14:40	㊻ 「中小企業における TQM の推進 ～カスタマーサクセスの追及～」 【2022 年度日本品質奨励賞 TQM 奨励賞受賞】 関工業㈱ 代表取締役　関　浩一	㊿ 「DX 時代に必要とされる究極の 効率化－フロントローディング」 クオリティ・ディープ・スマーツ（責） 代表　吉澤　正孝	㊹ 「感情特化 AI 活用による顧客価値の創造 ～ AI ペットロボット［Mofin］にみる AI × 癒しの技術革新～」 カシオ計算機㈱ サウンド・新規事業部　第三戦略部 メンタルウェルネス事業担当部長 河村　義裕	㊽ 「“見える化” で品質を守る：Log & Trace 活用による車載組込み開発」 アルプスアルパイン㈱ DCS 先行開発部 佐藤　裕典 インタビュー	㊷ 「サービスエクセレンスの新規発行規格（実装アプローチと成熟度モデル）と AI ツール」 東京大学大学院　工学系研究科 人工物工学研究センター　准教授 原　辰徳	㊼ 「“モノづくり” から “価値づくり” へ ～現場と経営をつなぐアジャイル実践の軌跡～」 ㈱明電舎 DX 推進本部 事業イノベーション部 部長　村松　勝 インタビュー
14:50～15:35	㊼ 「方針管理を軸とした経営の進め方」 【1987 年度デミング賞実施賞受賞】 ㈱ダイヘン 取締役専務執行役員 金子　健太郎	㊶ 「TQM と品質工学による フロントローディングの実現」 元　マツダ㈱ 武重　伸秀	㊺ 「AI が支える楽天の「顧客体験品質」 ～データと AI を活かしたサービス品質の継続的向上～」 楽天グループ㈱　執行役員 AI サービス統括部　ディレクター 大越　拓	㊾ 「ソフト開発の仕様・設計の検討初期から品質知見をゼロ距離で活かす EnQualitas 技術」 ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ㈱ ソフトウェア技術部門ソフトウェア品質技術部 1 課　公文　一博	㊸ 「顧客価値と企業価値の最大化に向けた サービスエクセレンス活用」 ㈱ブリヂストン　CQO・品質部門　首席主幹 西崎　友康 NSK ワーナー㈱　代表取締役社長　明石　邦彦	㊽ 「小さな組織が大きな共創を起こすとき ～トヨタとの共創事例から学ぶ中小企業の可能性～」 ミカドテクノス㈱ 代表取締役社長　伊藤　隆志
15:45～16:30	㊽ 3 者とフロアによる総合討論（パネル） 【コーディネーター】中條　武志 （中央大学　理工学部　教授）	㊷ 3 者とフロアによる総合討論（パネル） 【コーディネーター】佐藤　吉治 （（一社）品質工学会　代表理事 会長）	㊻ 3 者とフロアによる総合討論（パネル） 【コーディネーター】小代　義行 （㈱ pluszero　代表取締役会長 CEO）	㊿ 3 者とフロアによる総合討論（パネル） 【コーディネーター】森崎　修司 （名古屋大学　大学院情報学研 究科　准教授）	㊹ 3 者とフロアによる総合討論（パネル） 【コーディネーター】水流　聡子 （東京大学　総括プロジェクト 機構　特任教授）	㊾ 3 者とフロアによる総合討論（パネル） 【コーディネーター】川西　由美子 （ランスタッド㈱　組織開発ディレ クター 兼 セールスプロモーション マネージャー）

特別講演

時間	A会場：2階講堂
16:45～18:05	特別講演 3　「DMG 森精機の品質経営と成長戦略 ～ TQM を基盤とした Machining Transformation による変化への挑戦～」　森　雅彦（DMG 森精機㈱　代表取締役社長）

参加費（税込）

①2 日券	一般：58,080 円、会員：48,400 円
②大口参加券	会員・一般：957,000 円（同一法人格内であれば何名様でも視聴可能となります）
③小口参加券	会員・一般：418,000 円（人数限定：15 人まで /1 社あたり）
④一般事例発表者	5,500 円（1 名様分）

2 月 26 日（木）午前中

日本品質奨励賞 受賞報告講演

2025 年度日本品質奨励賞受賞 7 組織による受賞報告講演を実施いたします。
日本品質奨励賞については下記をご参照ください。
https://www.juse.or.jp/jqa/

クオリティフォーラム 2025 登壇者インタビュー

インタビュー の記載がある方は、Web サイトにてインタビュー記事を掲載予定です。
詳細は下記をご参照ください。
https://www.juse.jp/quality_forum/interview/

（敬称略）2026.2.6 現在